

プログラム

5月25日(金)

11:00~12:00 幹事会

12:05~12:10 開会の辞

当番世話人：伊丹 純（国立がん研究センター中央病院放射線治療科）

12:10~13:00 ランチョンセミナー1 第一会場

座長：熊崎 祐（埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科）

高線量率密封小線源治療装置の品質管理

川村慎二（宮崎大学医学部附属病院）

共催：ユーロメディテック株式会社

12:10~13:00 ランチョンセミナー2 第二会場

座長：戸板孝文（琉球大 放/JGOG 放射線治療委員会）

小線源治療と粒子線治療

櫻井英幸（筑波大学・医学医療系・放射線腫瘍学・陽子線医学利用研究センター）

共催：日本メジフィジックス株式会社

13:10~14:13 一般演題1 子宮頸がん 第一会場

座長：渡辺未歩（千葉大学放射線科）

野田真永（群馬大学放射線腫瘍科）

1. 頸癌術後腔内照射における target coverage の解析

小菅友裕（京都市立病院 放射線技術科）

2. 頸癌術後腔内照射における target coverage 改善のための新規腔シリンダーの開発

小菅友裕（京都市立病院 放射線技術科）

3. 局所進行子宮頸癌に対する高線量率腔内照射を用いた同時化学放射線療法に関する多施設共同第II相試験（JGOG1066）

戸板孝文（琉球大 放/JGOG 放射線治療委員会）

4. 「子宮頸癌に対する腔内照射-手技の基本とコツ」DVD 作成とアンケートによる医師の評価
大野達也（群馬大学 放射線科）
5. 子宮頸がん放射線治療の時間的線量分布
小島 幸（九州大学医学部保健学科）
6. 子宮頸癌腔内照射における仙骨硬膜外麻酔の初期経験
高橋加奈（国立がん研究センター中央病院 放射線治療科）
7. III 期子宮頸部扁平上皮癌に対する動注化学放射線療法の治療成績
兼安祐子（広島大学病院放射線治療科）

14:13～14:58 一般演題2 婦人科その他 第一会場

座 長：徳丸直郎（佐賀大学放射線科）

熊野智康（金沢大学医学部放射線科）

8. 婦人科領域の照射後再発腫瘍に対する組織内照射を用いた再照射例の検討
橋井晴子（筑波大学附属病院 放射線腫瘍科）
9. 早期子宮体癌の術後照射
萬 篤憲（東京医療センター放射線科）
10. 膣癌に対する高線量率小線源治療の経験
堤ゆり江（静岡県立静岡がんセンター放射線治療科）
11. 子宮頸癌・膣癌の高線量率組織内照射
村上直也（国立がん研究センター中央病院）
12. 子宮体癌に対して Rotte 式アプリケーターを用いた Image-guided Brachytherapy の経験
若月 優（放射線医学総合研究所）

14:58～15:15 コーヒーブレイク

15:15~16:00 一般演題3 前立腺シード治療 第一会場

座長：大橋俊夫（慶応大学放射線科）

小林加奈（京都府立医科大学放射線科）

13. 前立腺体積30ml以上のI-125シード治療の線量評価-1シード当たりの線源強度による比較-
戸矢和仁（国立病院機構東京医療センター放射線科）
14. 1年以上経過観察を行ったre-implantation6例の検討
久能木裕明（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
15. 前立腺体積の小さな（20ml以下）前立腺癌密封小線源永久挿入術について
小林加奈（京都府立医大 放射線科）
16. 前立腺癌シード治療におけるEquivalent Uniform Doseを用いた晩期直腸有害事象の評価
白石 悠（慶應義塾大学放射線治療科）
17. 国外にて前立腺がん密封小線源治療を行い、遷延する直腸出血をきたした1例
伊藤加奈子（熊本赤十字病院 放射線科）

16:00~16:54 一般演題4 前立腺HDR・その他 第一会場

座長：刈谷真爾（高知大学放射線科）

余田栄作（川崎医科大学放射線科(治療)）

18. 手術不能直腸癌に対する密封小線源治療
築山 巖（会津中央病院放射線科）
19. 前立腺癌に対する4種類の放射線治療の比較-泌尿器・消化器系の早期有害事象-
森本将裕（阪大放治／フローニンゲン大放治）
20. 高リスク限局性前立腺癌に対する集学的治療(Tri-modality)の生化学的再発の予後因子の検討
青木 学（東京慈恵会医科大学 放射線医学講座）
21. 高リスク前立腺癌のHDR-BTにホルモン療法は必要か？
平塚純一（川崎医科大学・放射線科（治療））

22. 局所前立腺癌外照射併用高線量率組織内照射：生化学的再発についての予測因子の検討

刈谷真爾（高知大学医学部放射線医学講座）

23. 高リスク前立腺癌に対する外照射を併用した高線量率組織内照射の治療成績

橋本弥一郎（東京女子医科大学病院 放射線腫瘍科）

13:10～14:13 一般演題5 物理・その他 第二会場

座長：花田剛士（慶応大学放射線科）

橋本光康（国際医療福祉大学）

24. モンテカルロシミュレーション GEANT4を用いた網膜芽細胞腫における¹⁰⁶-ルテニウムの線源のモデリング

岡本裕之（国立がん研究センター中央病院 放射線治療科）

25. ファントムを用いた I-125シード治療ポストプラン CT の撮影最適条件の検討

高橋真一（国立病院機構埼玉病院放射線科／国立病院機構東京病院放射線科）

26. ¹⁹²Ir γ 線に対するガラス線量計を用いた水吸収線量算出に関する検討

脇田明尚（国立がん研究センター中央病院 放射線治療科）

27. 高線量率小線源治療における緊急線源回収時に鉛プロテクタ着用は必要か

小坂賢吾（兵庫県立がんセンター 放射線部）

28. 臨床用全自動型 I-125シード放射線強度測定システムの開発

古谷俊介（徳島大学放射線科）

29. 指頭形電離箱による空気カーマ率の線量計算式の改定に向けて

小島 徹（千葉県がんセンター）

30. 子宮腔内照射用タンデムアプリーケータ短軸に対する線源偏位の検討

三宅俊輔（国立病院機構 大阪医療センター 放射線科）

17:00～18:30 低線量率 VS.高線量率ディベート 第一会場

座長：青木 学（慈恵会医科大学放射線科）

1. 前立腺癌 LDR

萬 篤憲（東京医療センター放射線科）

2. 低線量率照射の放射線生物学

三浦雅彦（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科校口腔放射線腫瘍学分野）

3. 前立腺癌 HDR

吉岡靖生（大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学）

共催：株式会社バリアンメディカルシステムズ

18:30～20:00 懇親会 第二会場

5月26日(土)

8:30~9:15 リフレッシャーコース高線量率小線源治療 第一会場

司 会：西村哲夫（静岡がんセンター放射線治療科）

高線量率組織内照射

吉田 謙（国立病院機構 大阪医療センター）

9:15~10:00 リフレッシャーコース低線量率小線源治療 第一会場

司 会：伊丹 純（国立がん研究センター中央病院放射線治療科）

低線量率小線源治療の経験から考えること

西尾正道（国立病院機構 北海道がんセンター 放射線治療科）

10:00~10:30 特別講演 第一会場

座 長：加藤眞吾（埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科）

FDG-PET/CT-guided conformal brachytherapy for cervical cancer

Seung Jae Huh, Heerim Nam, Sang Gyu Ju

(Department of Radiation Oncology, Samsung Medical Center)

共催：エレクトラ株式会社

10:30~11:33 一般演題6 子宮頸がん3D計画 第一会場

座 長：室伏景子（癌研放射線治療科）

伊井憲子（三重大学医学部放射線科）

31. 当科の Hybrid BT の試み

田中 潔（京都市立病院 放射線技術科）

32. 腫瘍サイズ別にみた子宮頸癌腔内照射時のハイリスク CTV 線量の経時的解析

大久保悠（埼玉県立がんセンター）

33. 子宮頸癌高線量率腔内照射における膀胱容積と小腸線量の関連

野田真永（群馬大学大学院腫瘍放射線学）

34. 子宮頸癌 RALS において腔内照射と組織内照射を併用した初期経験

稲葉浩二（国立がん研究センター中央病院 放射線治療科）

35. 子宮頸癌に対する画像誘導腔内照射実施に向けた2D・3D計画の治療パラメータ
整合性の検証

粕谷吾朗（琉球大学附属病院）

36. イメージガイドブラキセラピーにおけるCTおよびMR画像での線源停留位置の
決定

笹川 竜（千葉県がんセンター）

37. 子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療における直腸・膀胱線量評価

大川綾子（筑波大学附属病院放射線腫瘍科）

11:33~11:53 総会 第一会場

12:00~12:50 ランチオンセミナー3 第一会場

座 長：吉村亮一（東京医科歯科大学放射線科）

頭頸部癌のLDR brachytherapy

大賀才路（九州大学病院 臨床放射線科学）

共催：株式会社千代田テクノル

12:55~13:58 一般演題7 その他 第一会場

座 長：栗林茂彦（日本医科大学放射線科）

馬場祐之（熊本赤十字病院放射線科）

38. RALSを用いた表在モールド法によるケロイド術後放射線治療の再発予測因子の
検討

岩野茉莉絵（日本医科大学放射線医学）

39. 口腔癌に対するモールド照射の検討

築山 巖（会津中央病院放射線科）

40. 加速乳房部分照射（APBI）の多施設共同臨床試験のPrimary endpoint 解析結果

大谷侑輝（埼玉医大国際医療センター）

41. 照射後再発106recリンパ節に対する臓器移動下小線源治療の試み

岸 和史（和歌山医大腫瘍センター放射線治療部門）

42. 早期舌癌に対する低線量率組織内小線源治療

中川恵子（東京医科歯科大学）

43. 加速乳房部分照射（APBI）の多施設共同臨床試験の臨床結果

旭 修司（会津中央病院）

44. 過去185例から学ぶ Au-198グレイン組織内照射の意義と将来展望

沖本智昭（北海道がんセンター）

14:00～15:50 シンポジウム アプリケーター位置ずれ解消のこころみ 第一会場

座 長：平田秀紀（九州大学医学研究院保健学部門）

朝倉浩文（静岡がんセンター放射線治療科）

1. 当院の前立腺癌 HDR-BT での相対的ズレ対策

神谷伸彦（川崎医科大学 放射線科(治療)）

2. HDR のアプリケーター抜けに対する対応

石山博條（北里大学放射線腫瘍学）

3. HDR アプリケーター位置ずれに対する対応

村上直也（国立がん研究センター中央病院放射線治療科）

4. 「HDR アプリケーター位置ずれに対する対応」・・・和歌山県立医科大学の場合

野田泰孝（和歌山県立医科大学放射線科）

5. 当院におけるアプリケーター変位への対応

熊野智康（金沢大学附属病院放射線治療科）

6. 子宮頸癌高線量率組織内照射におけるアプリケーター偏位への対策

上田麻里（国立病院機構大阪医療センター 医療技術部放射線科）

共催：東洋メディック株式会社

15:50～16:00 閉会の辞

次期当番世話人：平田秀紀（九州大学医学研究院保健学部門）